

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 AVANTE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具合的な取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		経営理念は事業所内の従業員の目が届くところに掲示しており、ホームページにも掲載している。新規雇用者には入社教育時に説明を行っている。											8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		年1回コンプライアンス研修を行い、全従業員に周知している。																				16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		採用時、提出書類で誓約書の中に、公正な競争に関する記載があり、説明している。																	10				16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		労働災害、安全衛生やハラスメント、メンタルなどにおいて、衛生管理責任者資格者を設置している。																					16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		弊社では特許権等がないため、業務に対して該当していないか確認をしている。また、社内でも知的財産保護に関する教育を行っている。										8.2	8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護の担当を決め、就業規則の規定に従い適切に管理している。また個人情報を保管する鍵付き書庫や防犯カメラも設置している。																					16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		日頃から顧客の声を大事にし、取引先のJAともコミュニケーションを図り、適切に対応している。																				16	17		
	8	【サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5							8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●															9			11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●														8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5					8						12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		全従業員に差別ハラスメント禁止に関し周知し、相談窓口も配置している。差別や人権などの理由で退職した従業員はこれまでもいない。				4.3	5.1					8.5										16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		就業場所に衛生管理責任者資格者を配置し、日々の巡回により、危険箇所がないか、災害時の避難経路、従業員の通勤経路に危険がないか等の確認を行っている。								3			8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		雇用形態の異なる従業員について、有期雇用、無期雇用に関しては、正規雇用への転換ができ、キャリアアップができる環境を整えている。また、就業規則にも記載している。					5.5					8.5										10.2	10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		日々の業務を見直し、業務効率化により残業時間を削減している。					5.5						8.5											10.3	
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		月1回管理職会議を行い、人材育成に関する問題点、改善点について意見を交換している。また、キャリアアップ制度や能力スキルチェック、ビジネスマナーにも注力し、従業員を育成している。					4	5.5					8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎週の朝礼時に、水分補給を行うよう促している。また、従業員には健康診断の経費補助を行っている。									3			8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		外国人や高齢者等も雇用し多様な人材が働きやすいよう、外国人には方言を使わず、標準語で話し、高齢者には自身にあった労働日数や労働時間のヒアリングをするなど、雇用条件を変更できる環境を整備している。					4.4	5.1					8.5										10.2	10.3	16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●												3			8	9.1			11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●														8	9.1				11	12					
	21	【ブライツ企業】 ・ブライツ企業に認定されている。	●															8	9								12	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 AVANTE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃棄物を処理する際は不燃物と可燃物、資源物をボックス別に分けている。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車はEV車、エコカーを使用し削減に取り組んでいる。また、待機電力も節電している。エネルギー使用量に関しては、毎月の使用量が記載された明細書を事業所で保管し、把握している。							7.3					13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		事業所は観葉植物を置き、施設には樹木や芝生を植えている。また、LED照明を使用し、温室効果ガスを抑制している。毎月の電気やガスの使用量から温室効果ガスの排出量を簡易計算し、把握している。		2.4						7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15								
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		従業員にレジ袋削減などを周知し、廃プラに取り組んでいる。					6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		リサイクル活動などに積極的に参加し、そのためにごみの分別を徹底している。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15							
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		なるべく地下水、井戸水を使用し、就業場所では日頃から節水を呼び掛けている。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15					17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		プリンター等のインクは、リサイクルカートリッジを使用し、紙は、再生用紙や裏紙を使用している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15							
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4							12.3	14	15					17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3	15						17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13	15							
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13	15							
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5		14							
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			社用車は環境にやさしいEV車やエコカーを使用している。								9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.17	
	製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		各機械に機械操作マニュアルを設置し、危険箇所の把握や品質管理を行っている。各備品には取扱説明書を設置している。			3.9							9		12.4								
38		【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障がい者や高齢者も利用しやすいように、トイレを和式から洋式に付け替え可能にしている。また運転が難しい高齢者は職場まで送迎を行っている。									9.1	10	11.7								17		
39		【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●					2.3 2.4					7.3	8	9	11.a	12.3	13	14	15					17	
40		【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		事業所の扉やデスクに木材を使用し、木質化を推進している。								7				12.2	13.1	15							
41		【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
42		【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●					2.3 2.4							8.2	9.2 9.4	11.a	12.2	14	15					17	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社 AVANTE

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域の防災マップを事業所内に掲示している。また、自社が避難所に指定されており、自治体の防災マップに記載されている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		避難誘導係を設けており、定期的に避難訓練を行っている。熊本地震に関しては実際に被災地でボランティアを行っていた。また、事業所には消火器2本、簡易テント、自治体の防災無線機、防災バッグなどを常備している。				4						11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	年一回AED訓練や応急救護訓練を行っている。また、従業員は地域消防団に数名加入しており、避難経路や避難場所を把握するなど、災害に備えている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地元の中学生に職業講話を行うなど、学生に学びの場を提供している。				4				8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	職業紹介事業を行っているため、県内の求人・求職のマッチングができる。自社でも新卒者、若者の雇用に力を入れている。2022年：新卒1名採用				4.4				8.5 8.6										17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。